

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 3 年 2 月 16 日
東村山市議会議長 様

議席番号 3 番
質問者 藤田まさみ

記

(1) GIGA スクールの現場でネットリテラシー教育を

本年 4 月より市内全小中学校でいよいよ GIGA スクールが本格的に実施される。既にパソコン、スマホに馴染んでいる小中学生も多いと思うが、学校の授業で一人一台タブレット端末が支給され、利用されるのに伴い、コンピューターやインターネットへの関心がさらに高まると思われる。一方で、子どもがスマホやネットを長時間利用する問題、ネット犯罪に巻き込まれる問題も増えている。パソコン、スマホやインターネットは便利なツールとしてなくてはならないものになっているが、使い方によっては危険なものともなる。GIGA スクール開始にともない、学校現場で改めてしっかりとネットリテラシー教育を行ってほしいと考え、以下に伺う。

(1) タブレット端末の使い方について

- ① 校内での主な使い方について伺う。
- ② 家庭への持ち帰りは可能なのか。その場合、家庭での使い方について伺う。
- ③ インターネットへ接続可能なのか。その場合、何らかの制限は設けるのか。
- ④ 長時間の利用を防ぐための措置は検討されているか。

(2) ネットリテラシー教育について

- ① 現在、市内の小学生、中学生で自分用のスマホを持っている割合は調査しているか。している場合は学年別に伺う。していない場合、何らかの代替指標があれば伺う。
- ② スマホやネット利用について、生徒や保護者から相談を受けることがあるか。ある場合、どのような内容か。
- ③ スマホの利用について、学校で制限は設けているか。
- ④ 裏サイトや SNS への書き込みで問題が起こったことがあるか。
- ⑤ ネットの使い方、SNS での投稿の仕方など、個人情報保護のため、いじめの

温床にならないようにするため、またネット犯罪に巻き込まれないための教育、指導は市内の小中学校で現在行われているか。

- (4) 以上を総括して、GIGA スクール開始に際し、小中学校でのネットリテラシー教育について教育長に見解を伺う。

2. 市民サービスとしての市内路線バスの安定的運行に一段の支援を

1月23日付週刊ダイヤモンド誌は「航空・鉄道最終シナリオ」と題した特集の中で、バスやローカル鉄道などの地方交通の半分がこのままだと1年以内につぶれるとの記事を掲載した。この実現可能性がどの程度かは別として、バス業界はコロナの影響を最も大きく受けた業界のひとつである。特に、貸し切りバスと違って路線バスは外出自粛で利用客が減っても運行を止めるわけにはいかず、赤字のまま営業を続けざるを得ない。市内には路線バスを運行する2事業者があり、これまでもバス停などの占用料の免除など、ある程度の支援策がとられてきたが、今年に入ってから2度目の緊急事態宣言で大幅な減収になっていると聞く。交通インフラである路線バスについて以下に伺う。

(1) 市内で運行されている路線バスについて

- ① 路線数、それぞれの発着地、主な利用目的（通勤・通学、買い物など）を伺う
- ② 特にコロナによる外出自粛、リモートワークなどで影響を大きく受けている路線はどこか
- ③ 市内の路線バス事業者の経営状況を把握しているかを伺う
- ④ バス事業者の経営悪化による路線バス運行への影響をどう捉えているか。

(2) 市内路線バス運行継続のための支援について

- ① 昨年の1回目の緊急事態宣言以降、路線バス事業への支援策を伺う
- ② 万一、運行が継続できなくなる場合、市民への影響をどう予測しているか。
- ③ 今後、路線バスの安定的運行を支援するために検討している対策があれば伺う。

- (3) 以上を総括して、交通インフラとしての市内路線バス事業について、行政の役割をどう考えているのか伺う。